



CRX-E300

CDレシーバー



このたびは、ヤマハCDレシーバーCRX-E300をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。CRX-E300の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがあります。

取扱説明書

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば△は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえば⊘は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。
 - 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。
 - 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。
 - 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - あおむけや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (少なくとも本機の左右、上、背面各10cm以上離して設置してください)
本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

本機のACアウトレットに、指定された供給電力を超えた機器を接続しない。また、供給電力内であっても電熱器・ドライヤー・電子調理器等は接続しない。

火災の原因となります。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

本機のディスクの挿入口等にもものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうソクなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

電源を入れる前や再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続をはずす。

- 接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。


注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。



注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。

本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆりみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しない。

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れたまましばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

おもな特長

<レシーバー部>

- 定格出力:25W+25W(1kHz、0.1%THD、6Ω)の高音質パワーアンプ
- 40局プリセットFM/AMチューナー
- サブウーファー出力端子
- MD、カセットを付属リモコンで集中制御

<CDプレーヤー部>

- SビットDAC
- 光デジタル出力
- CD TEXT対応
- CD-R/CD-RW再生可能

CDレシーバーCRX-E300は、ヤマハPiano Craft(ピアノクラフト)シリーズのメインユニットです。追加で充実したシステムコンポーネントをお楽しみいただけるよう別売のMDレコーダーMDX-E300とカセットデッキKX-E300を用意しています。

もくじ

おもな特長	1	CDの再生	12
付属品について	2	時間とCDテキストの表示	13
CDの取り扱いについて	2	ランダム再生	13
各部の名称		リピート再生	14
フロントパネル	3	プログラム再生	14
ディスプレイ	4	タイマーの使いかた	
リモコン	4	タイマー再生/録音	16
ご使用のまえに		スリープタイマー	17
リモコンについて	5	システム録音のしかた	
スピーカー、アンテナの接続	6	リモコンで他の機器を操作する	18
システムの接続	7	ダビングモードの選択	19
時刻の合わせかた	8	シンクロ録音	19
ディスプレイの明るさ調節	8	テーププログラム	20
基本の操作	9	ご参考	
FM/AM放送の受信	10	故障かな?と思ったら	21
放送局のプリセット	11	仕様	22

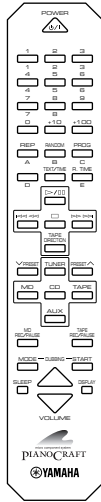
付属品について

はじめに、次のことをお確かめください。

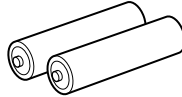
1. 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか。
2. 付属品はすべてそろっていますか。

<付属品>

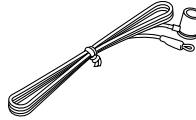
リモコン×1



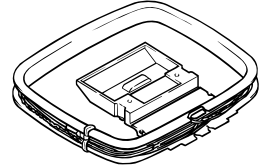
単3乾電池×2



FM 簡易アンテナ×1



AM ループアンテナ×1



CDの取り扱いについて

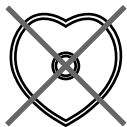
- 本機のCDプレーヤーは以下のマークの入ったディスクが再生できます。



(再生専用)

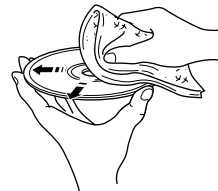
他の種類のディスクは再生しないでください。

- 本機の性能を十分生かすために、信頼できるメーカーのCD-R および CD-RW をご使用ください。
- ディスクの特性や録音の条件（著作権等）により、再生できないディスクもあります。
- ハート型など、規格外の変型CDを再生しないでください。正しく再生できないばかりでなく故障の原因となることがあります。

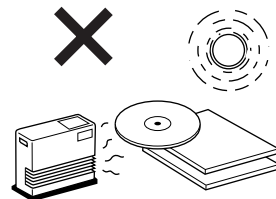


- クリーニング用ディスクや、ゆがんだディスクをかけないでください。
- シールやテープを貼ったディスクをかけないでください。
- 再生面(文字やラベルのない面)に触れないでください。

- 文字のある面に、硬い鉛筆やボールペンなどで書き込まないでください。信号をそこないますので、再生面と同様にキズをつけないよう注意してください。
- 指紋やほこりなどの汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、柔らかい布で、中央から縁の方向にまっすぐ軽くふきとってください。

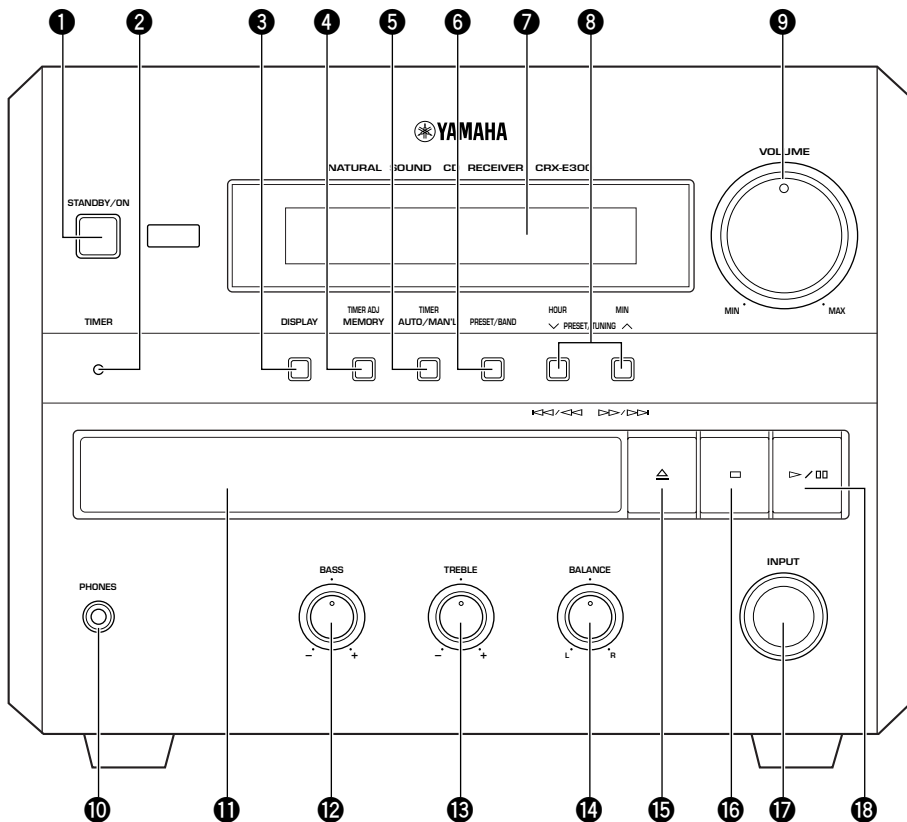


- ディスククリーナーやレコード用のスプレー、静電気防止剤、ベンジンなどの化学溶剤などをディスクの汚れとりに使わないでください。
- ディスクを、直射日光のあたる場所や暖房器具のそば、ほこりや湿気が多い場所に置かないでください。



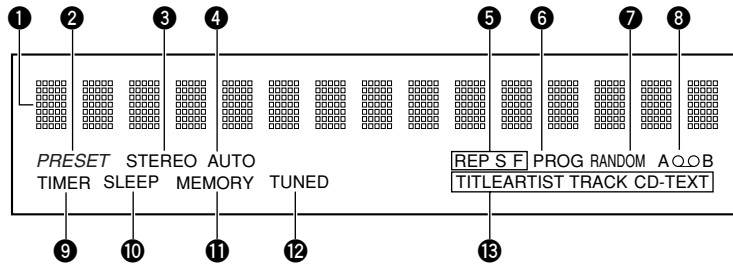
各部の名称

フロントパネル



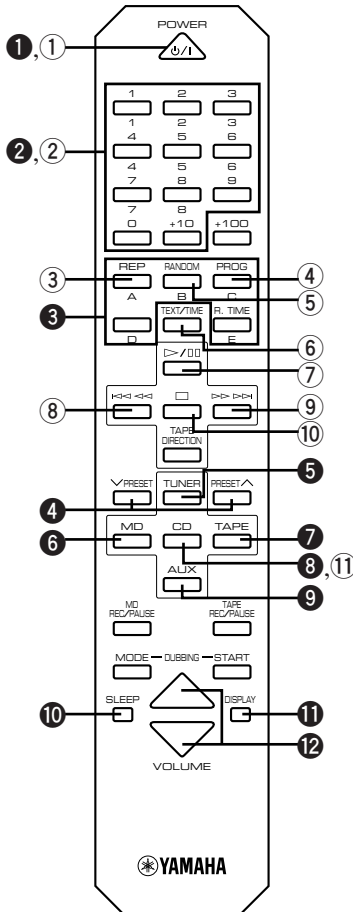
- ① STANDBY/ON(スタンバイ/オン)ボタン (P.9)
- ② TIMER(タイマー)インジケータ (P.16)
- ③ DISPLAY(ディスプレイ) ボタン (P.8、16)
- ④ TIME ADJ(タイムアジャスト)/MEMORY(メモリー)ボタン (P.8、11)
- ⑤ TIMER(タイマー)/AUTO/MAN'L(オート/マニュアル)ボタン (P.10、16)
- ⑥ PRESET/BAND(プリセット/バンド)ボタン (P.10)
- ⑦ ディスプレイ (P.4)
- ⑧ <TUNER が入力に選択されているとき>
PRESET/TUNING(プリセット/チューニング) ↓/↑ボタン (P.10)
<CD が入力に選択されているとき>
⏪/⏩/⏮/⏭ (スキップ/サーチ)ボタン (P.12)
- ⑨ VOLUME(ボリューム)つまみ (P.9)
- ⑩ PHONES(ヘッドホン)端子 (P.9)
- ⑪ ディスクトレイ
- ⑫ BASS(バス)つまみ (P.9)
- ⑬ TREBLE(トレブル)つまみ (P.9)
- ⑭ BALANCE(バランス)つまみ (P.9)
- ⑮ △(ディスクトレイ開閉)ボタン (P.12)
- ⑯ □(停止)ボタン (P.12)
- ⑰ INPUT(インプット)セレクター (P.9)
- ⑱ ▷/⏮(再生/一時停止)ボタン (P.12)

ディスプレイ



- ① 時刻、周波数、動作状況などを表示します。
- ② PRESET(プリセット)表示 (P.11)
- ③ STEREO(ステレオ)表示 (P.10)
- ④ AUTO(オート)表示 (P.10)
- ⑤ REP S/F(シングル/フルリピート)表示 (P.14)
- ⑥ PROG(プログラム)表示 (P.14)
- ⑦ RANDOM(ランダム)表示 (P.13)
- ⑧ A Q O B(テープ面)表示 (P.20)
- ⑨ TIMER(タイマー)表示 (P.16)
- ⑩ SLEEP(スリープ)表示 (P.17)
- ⑪ MEMORY(メモリー)表示 (P.11)
- ⑫ TUNED(チューンド)表示 (P.10)
- ⑬ CD-TEXT(CDテキスト)表示 (P.13)

リモコン



- ① POWER(パワー)ボタン (P.9)
- ② プリセット局番号選択ボタン (1 ~ 8)* (P.11)
- ③ A/B/C/D/E(プリセットグループ)選択ボタン* (P.11)
- ④ PRESET(プリセット)∨/∧選局ボタン* (P.11)
- ⑤ TUNER(チューナー)選択ボタン (P.11)
- ⑥ MD 選択ボタン (P.18)
- ⑦ TAPE(テープ)選択ボタン (P.18)
- ⑧ CD 選択ボタン (P.12)
- ⑨ AUX(AUX 端子に接続した機器)選択ボタン
- ⑩ SLEEP(スリープ)ボタン (P.17)
- ⑪ DISPLAY(ディスプレイ)ボタン (P.16)
- ⑫ VOLUME(ボリューム)ボタン (P.9)
- * TUNER が入力に選択されているとき

<メモ>

- ⑤ ~ ⑨ は、各機器の入力選択に使用します。

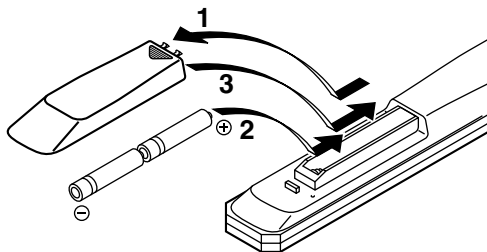
CD が入力に選択されているとき

- ① POWER(パワー)ボタン (P.12)
- ② ダイレクト選曲(数字)ボタン (P.12)
 - +100ボタンはMDX-E300の操作に使用できます。
- ③ REP(リピート)ボタン (P.14)
- ④ PROG(プログラム)ボタン (P.14)
- ⑤ RANDOM(ランダム)ボタン (P.13)
- ⑥ TEXT/TIME(テキスト/タイム)ボタン (P.13)
- ⑦ ▷/⏸(再生/一時停止)ボタン (P.12)
- ⑧ ◀◀ ◀◀(早戻しスキップ/サーチ)ボタン (P.12)
- ⑨ ▶▶ ▶▶(早送りスキップ/サーチ)ボタン (P.12)
- ⑩ ◻(停止)ボタン (P.12)
- ⑪ CD 選択ボタン (P.12)

リモコンについて

付属のリモコンを使って、本機のほか、別売のカセットデッキ KX-E300、MD レコーダー MDX-E300 の操作ができます。各機器の操作に関しては、18 ページおよびそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

■ 乾電池の入れかた



1. 裏ぶたをはずす
2. 単 3 乾電池(2 個)をいれる
3. 裏ぶたを戻す

■ 乾電池の交換

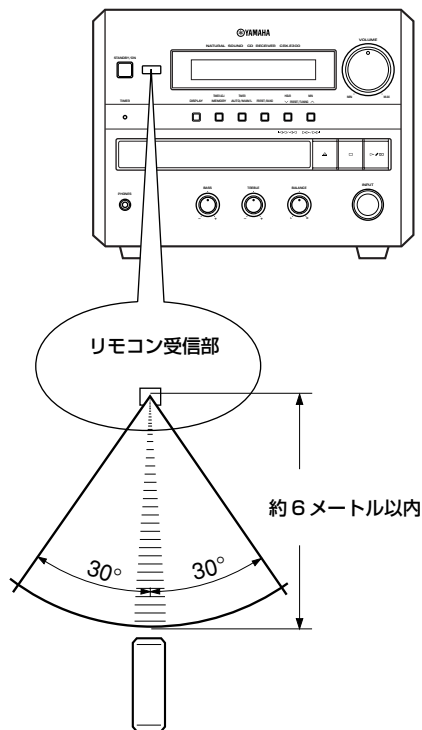
リモコン受信部に近づかないと動作しないときは、乾電池を交換してください。

ご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつすることがありますので、次の点に注意してください。

- 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを表示どおり正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使わないでください。
- 種類のちがう乾電池(アルカリとマンガンなど)をまぜて使わないでください。
- 乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使われないときは、乾電池をすべて取り出してください。
- 液もれのときは、液にふれないよう、また衣服などにつかないよう気をつけながら、ケースの中についた液をよくふきとってください。

■ リモコンの使用範囲

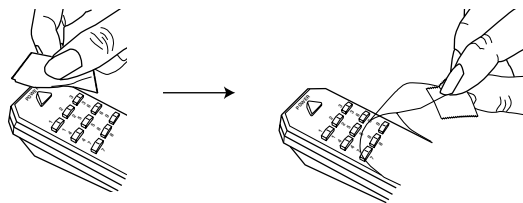


ご注意

- 受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- 受信部に直射日光や強い照明(インバーター蛍光灯など)が当たっていると、リモコンが働きにくくなります。照明または本体の向きをかえてください。

■ 保護フィルムのはがしかた

お買い上げ時のリモコン表面には、輸送中のキズつきを防ぐための保護フィルムが貼られています。フィルムをはがすときは、セロハンテープなどをフィルムに密着させてから、テープごと引きはがしてください。

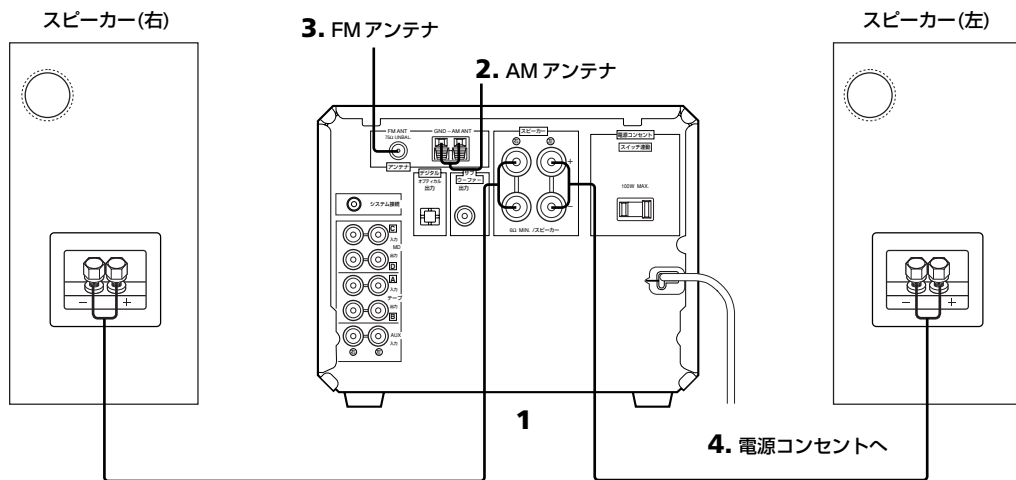


ご注意

- リモコン表面をつめなどで引っかかないでください。

スピーカー、アンテナの接続

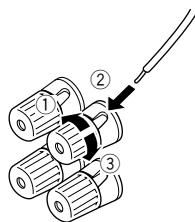
接続が完了するまでは、絶対に本機の電源コードをコンセントにつながないでください。付属のコード等を使って、下記の手順のとおり接続してください。左 (L) / 右 (R)、+ / - の端子どうしを正しく接続してください。



1. スピーカーをつなぐ

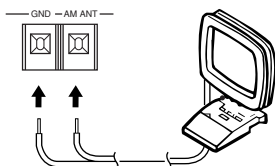
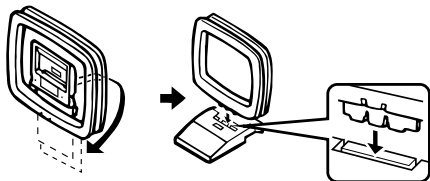
- ① スピーカー端子を左にまわしてゆるめます。
- ② コード先端の絶縁部を10mm程はがしてバラけないようにねじり、スピーカー端子の穴に差し込みます。
- ③ スピーカー端子を右にまわしてしっかりと締めます。

赤 : (+)
黒 : (-)



2. AM アンテナをつなぐ

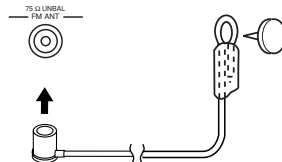
付属のAMループアンテナを組み立ててから本体に接続します。すべての接続完了後、受信の際には、放送が最もきれいに聞こえる方向に調節してください。



3. FM アンテナをつなぐ

付属のFM簡易アンテナを、FM ANT 端子に接続してください。

すべての接続完了後、受信の際には、放送を聞きながら、ひずみやノイズの最も少ない位置に、先端部を押しピンなどで壁などに固定します。



4. 電源コードをコンセントへつなぐ

システム接続(次ページ参照)をふくむ全ての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。

- 接続するときの電源プラグの向き(極性)によって音が変わることがあります。お好みの向きで接続してください。

<メモ>

- 付属のアンテナで放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使用してください(設置のしかたなど、くわしくは販売店にお問合せください)。
- AMループアンテナを本体に近づけると雑音が入ることがあります。できるだけ本体から離してください。

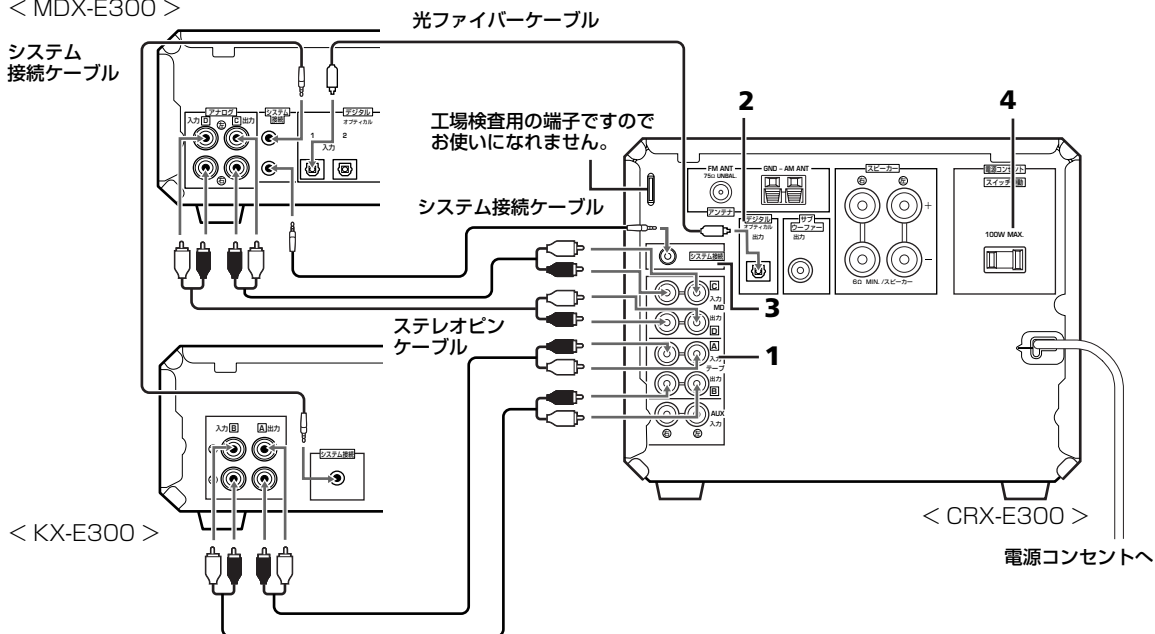
■ 別売のスーパーウーファーをつなぐ

スーパーウーファーを追加することで、低音をより豊かに再生することができます。本体のスーパーウーファー出力端子に、アンプ内蔵型スーパーウーファーの入力端子を市販のサブウーファー用ピンケーブルで接続してください。

システムの接続

本機にお手持ちのMDレコーダー、カセットデッキを接続してもお使いいただけますが、MDX-E300、KX-E300を接続することで、便利なシステム機能(タイマー再生/録音や、シンプルな操作で録音編集)がお使いになれます。詳しい接続についてはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

< MDX-E300 >



< KX-E300 >

< CRX-E300 >

電源コンセントへ

1. アナログ音声端子の接続をする。

ステレオピンケーブルを使って、**㊦**～**㊨**の印字が対応する端子どうしを接続します。

- 本機の入力端子 **㊨** に MDX-E300 の出力端子 **㊨** を、本機の出端子 **㊨** に MDX-E300 の入力端子 **㊨** を接続します。
- 本機の入力端子 **㊦** に KX-E300 の出力端子 **㊦** を、本機の出端子 **㊨** に KX-E300 の入力端子 **㊨** を接続します。
- 本機のAUX入力端子には、お手持ちのオーディオ機器が接続できます。レコードプレーヤーを接続する場合は、別途フォノイコライザーアンプが必要になることがあります。詳しくはレコードプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

2. デジタル音声端子の接続をする(MDX-E300)。

市販の光ファイバークーブル(EIAJ規格に適合するもの)を使って、本機のデジタルオプティカル出力端子を、MDX-E300のデジタルオプティカル入力端子に接続します。光ファイバークーブルと、機器の端子にあるキャップをはずしてから接続してください。長い間使われないときは、ほこりが入らないように、かならずキャップをしてください。

デジタル接続により、より高音質の録音ができます。

3. システム接続する。

システム接続ケーブルを使って、本機とMDX-E300、MDX-E300とKX-E300の各システム接続端子を接続します。システム接続ケーブルはMDX-E300、KX-E300に各1本付属しています。

4. 電源コンセント

MDX-E300(またはKX-E300)の電源コードを接続します。

- 電源プラグの向き(極性)によって音が変わることがあります。お好みの向きで接続してください。

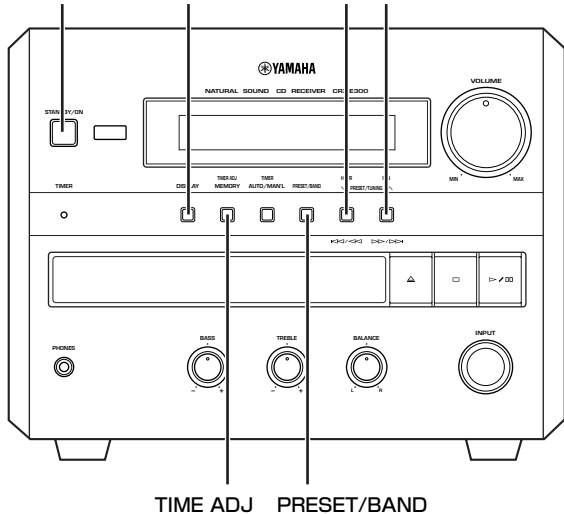
ご注意

- すべての機器の電源コンセントとシステム接続コードの端子を確実に差し込んでから、本機をオンにしてください。また、機器がオンの状態のときは電源コードやシステム接続コードを抜き差ししないでください。

時刻の合わせかた

タイマー機能を使うまえに時刻を合わせます。

STANDBY/ON DISPLAY HOUR MIN



1. STANDBY/ON ボタン(またはリモコンの POWER ボタン)を押して電源を入れる
2. DISPLAY ボタンを押して Clock Time を選ぶ
3. TIME ADJ ボタンを押したまま、HOUR ボタンで「時」を合わせる
 - ・ 押しつづけると連続して進みます。
 - ・ TIME ADJ ボタンと PRESET/BAND ボタンを押したまま HOUR ボタンを押すと、逆方向に進みます。
 - ・ 時刻は 12 時間表示です。
真夜中: AM 12:00
正午: PM 12:00
4. TIME ADJ ボタンを押したまま、MIN ボタンで「分」を合わせる
 - ・ TIME ADJ ボタンと PRESET/BAND ボタンを押したまま MIN ボタンを押すと、逆方向に進みます。

■ 時刻を表示するには

DISPLAY ボタンを押す

現在の時刻が約 8 秒間表示されます。この間、一部できない操作があります。

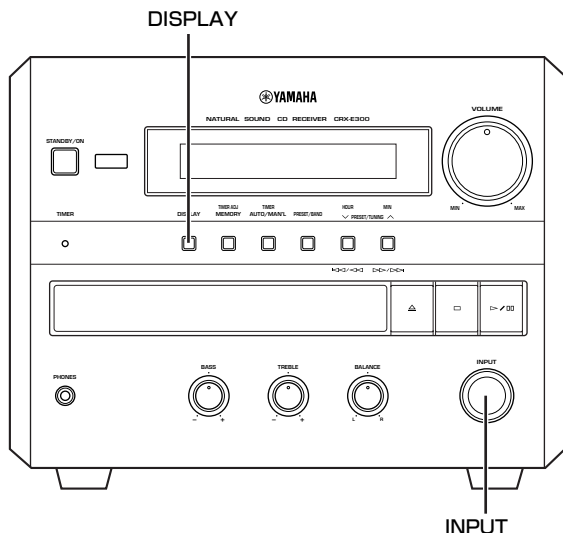
<メモ>

- ・ 停電や電源コードを抜いた状態で 5 分以上経過してしまったら、もう一度時刻を合わせなおしてください。

ディスプレイの明るさ調節

本機でディスプレイの明るさを調節できます。

MDX-E300、KX-E300 をシステム接続しているときは、各機器のディスプレイも同時に調節されます。



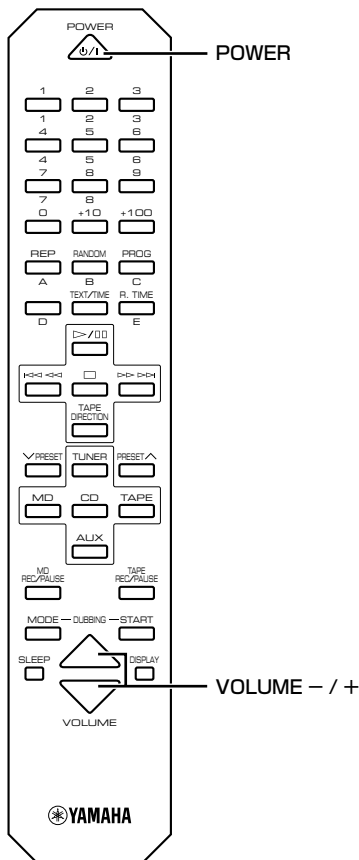
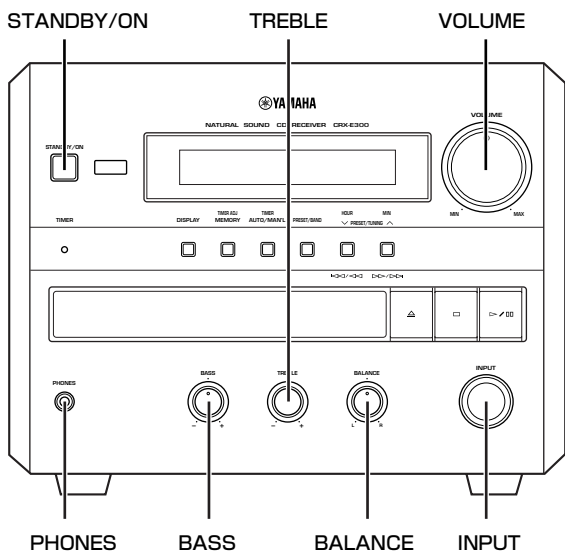
ディスプレイに「Dimmer ±0」が表示されるまで、DISPLAY ボタンを約 2 秒間押しつづけます。そのまま DISPLAY を押した状態で、INPUT セレクターをまわして明るさを調節します。左にまわすと暗く、右にまわすと明るくなります。

Dimmer ±0

調節できる範囲: -6 ~ ±0 (初期設定は ±0)

基本の操作

ここでは、FM/AM放送の受信、CDや接続機器の再生に必要な基本の操作を説明します。



- 本機の電源オン/スタンバイを切り換えると、リアパネルの電源コンセントに接続されている別売MDX-E300、KX-E300も連動して切り換わりません。ただし、本機がオンのときに各接続機器側で切ったときは、その後本機で切り換えできません。

3. INPUTセクターをまわして再生したい接続機器を選ぶ

4. 再生する

各機器の取扱説明書を参照してください。

5. VOLUMEつまみ(またはリモコンのVOLUME - / +)で音量を調節する

6. お好みに合わせて音質を調節する

- BASS: 右(+)にまわすと低音が強調され、左(-)にまわすと低音がおさえられます。
- TREBLE: 右(+)にまわすと高音が強調され、左(-)にまわすと高音がおさえられます。
- BALANCE: 左右のスピーカーから出力される音のバランスを変えることができます。スピーカーの配置やお部屋の形に合わせて調節してください。

■ ヘッドホン(別売)を使うなら

PHONES 端子に接続します。

- インピーダンス 16 Ω ~ 50 Ω (推奨 32 Ω) で、直径 3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。

■ 本機を使いおわったら

STANDBY/ON ボタン(またはリモコンのPOWER ボタン)を押して、本機をスタンバイ状態(ディスプレイに「STANDBY」が数秒間表示される)にします。

- 電源プラグがコンセントに接続されていて、本機がオフの状態をスタンバイ(STANDBY)状態といいます。このとき、本機はメモリー保持のためごくわずかな電力を消費しております。

■ オートスタンバイ機能

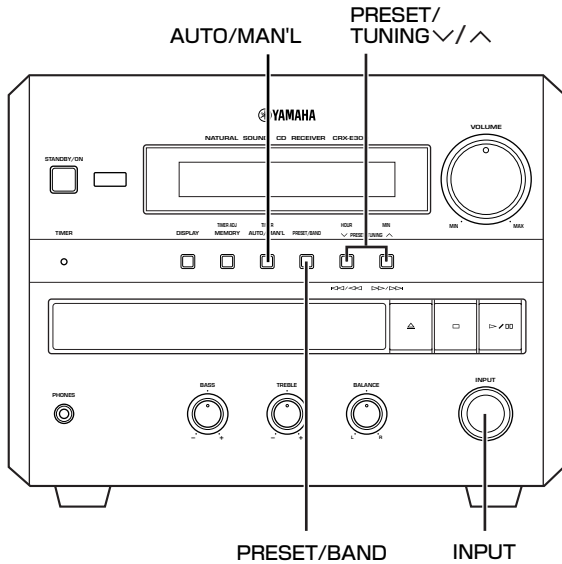
本機は、以下の場合、自動的にスタンバイ状態になります。

- システム接続ケーブルで接続した機器を入力ソースとして選択した場合
- 本機に接続した機器を約30分操作せず、停止状態の場合

1. 本体の VOLUME つまみをまわして音量を「MIN」にあわせておく
2. STANDBY/ON ボタン(またはリモコンのPOWER ボタン)を押して電源を入れる

FM/AM 放送の受信

オート(自動)選局とマニュアル(手動)選局があります。

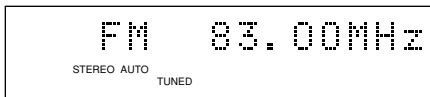


■ マニュアル選局

1. オート選局の手順 1、2 をおこなう
2. AUTO/MAN'L ボタンでマニュアル選局を選ぶ
ボタンを押してディスプレイの AUTO 表示を消します。
3. 高い周波数の放送局を探すには PRESET/TUNING ^ を、低い周波数の放送局を探すときは <v/> を押して、希望の局の周波数にあわせる
押しつづけると連続して周波数が変わります。

■ オート選局

1. INPUT セレクターをまわして、TUNER を入力に選択する
周波数などがディスプレイに表示されます。
2. PRESET/BAND ボタンを押して FM または AM を選ぶ
ディスプレイの PRESET 表示が消えていることを確認してください。
3. AUTO/MAN'L ボタンでオート選局を選ぶ
ボタンを押してディスプレイの AUTO 表示を点灯させます。
4. 高い周波数の放送局を探すには PRESET/TUNING ^ を、低い周波数の放送局を探すときは <v/> を押す



自動的に選局して停止し、TUNED 表示が点灯します。

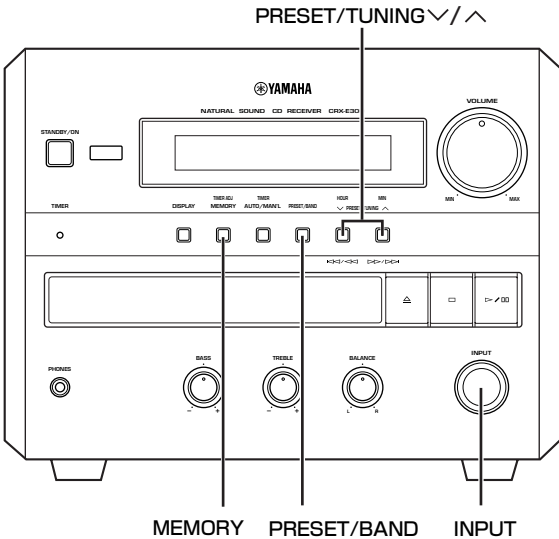
5. 受信した放送局が希望の局でないときは、もう一度 PRESET/TUNING ボタンを押す

<メモ>

- オート選局で希望の局を受信できないときは、マニュアル選局で正確な周波数を選んでください。
- ステレオ放送を受信すると STEREO 表示が点灯します(電波が弱いと点灯しないことがあります)。

放送局のプリセット

あらかじめ放送局をプリセット(登録)しておけば、簡単なボタン操作で選局することができます。A~Eまでの5グループに各8局、合計40局までプリセットできます。



■ マニュアルプリセット

1. プリセットしたい放送局を選局する

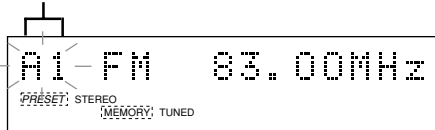
選局のしかたについては、前ページをご覧ください。

2. MEMORY ボタンを押す

3. 手順2 から5秒以内に、PRESET/TUNINGへまたは∨ボタンを押してプリセットグループ(A~E)と局番(1~8)を選ぶ

ボタンを押すごとに、A1、A2...A8、B1...の順で切り換わります。ボタンを押しつづけると、プリセットグループのみが切り換わります(例: A3、B3、C3...)

プリセット番号



4. 手順3から5秒以内に、MEMORY ボタンを押す

ディスプレイにMEMORY表示とPRESET表示が点灯し、プリセット番号が表示されます。プリセット番号と登録された周波数の間に矢印が約1秒間表示されます。

<メモ>

- 一度登録したプリセット番号に、別の放送局を上書きできます。
- 電源コードを電源コンセントからはずしても、1週間までならばプリセット局を記憶しています。それ以上経過すると記憶が消えることがあります。

■ オートプリセット

1. INPUTセクターをまわして、TUNERを入力に選択する

2. MEMORY ボタンを2秒程度押しつづける

オートプリセットが始まり、AUTO表示とMEMORY表示が点滅します。終わるとA1のプリセット局が表示されます。

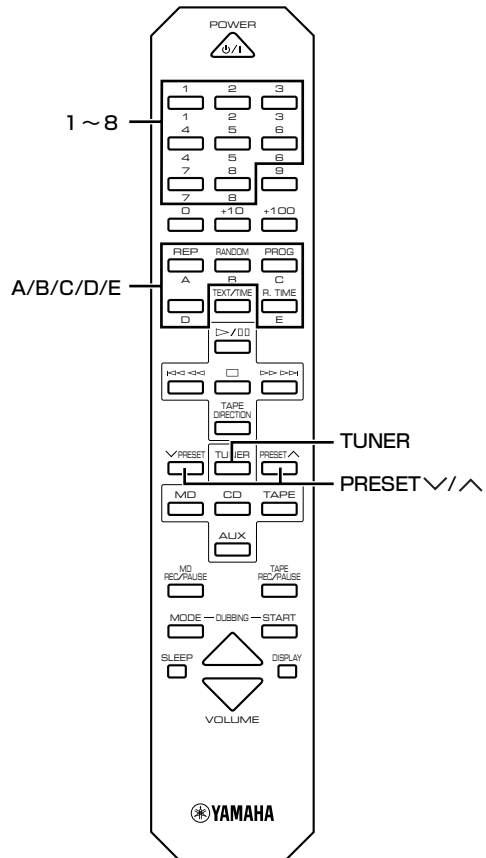
- 電波の強い放送局を低い周波数から順に、A1、A2と自動登録します。
- FM局を先に、次にAM局を登録します。

■ プリセットした放送局の呼び出し

本体で:

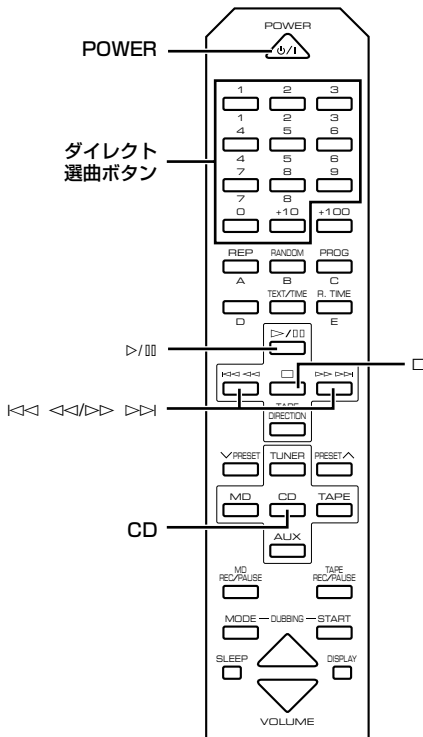
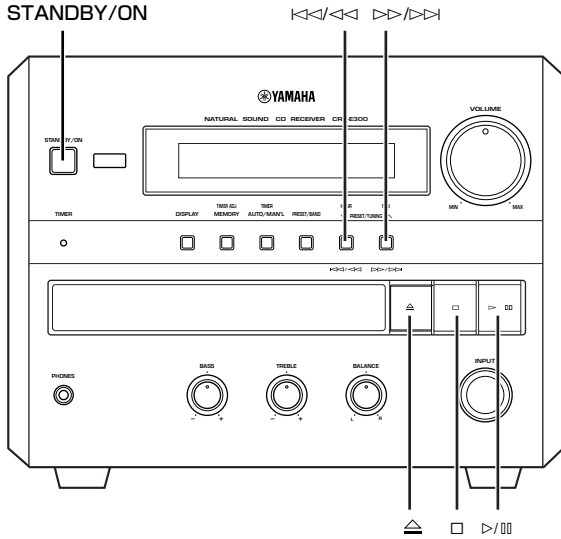
- INPUTセクターをまわしてTUNERを入力に選択する
 - PRESET/BAND ボタンを押してディスプレイのPRESET表示を点灯させる
 - PRESET/TUNINGへまたは∨ボタンで局番を選ぶ
- リモコンで:

- TUNER ボタンでTUNERを入力に選択する
 - A/B/C/D/Eボタンでプリセットグループを、1~8の数字ボタンで局番を選ぶ
- PRESET/TUNING ∨/へ (またはリモコンのPRESET ∨/へ) を押しつづけると、プリセットグループ(A~E)が切り換わります。



操作のしかた

CDの再生

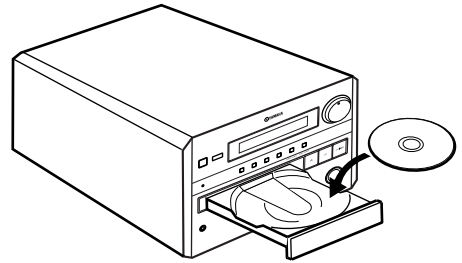


1. 電源を入れる

本機のSTANDBY/ON ボタンまたはリモコンのPOWER ボタンを押します。

2. リモコンのCD 選択ボタンを押す、または本体のINPUTセクターをまわしてCDを選ぶ

3. △ボタンを押してディスクトレイを明け、文字のある面を上にしてディスクを入れる



4. ▷/||| ボタンを押す

CDの再生が始まります。

<メモ>

- ファイナライズされていないCD-R、CD-RWディスクは正常に再生されません。本機で再生する前に必ず、CDレコーダーでファイナライズしてください。

■ 一時停止するには

▷/||| ボタンを押す

つぎに再生を始めるときは、もう一度▷/||| ボタンを押してください。

■ 再生を止めるには

□ ボタンを押す

■ ディスクを取り出すには

△ボタンを押してディスクトレイを明け、ディスクを取り出す

■ 選曲するには

ダイレクト選曲

ダイレクト選曲ボタンでお好みの曲の番号を選ぶ

例：25番目の曲を選ぶには

+10 ボタンを2回押して「2_」が表示されたら、5ボタンを押します。

スキップ選曲

次の曲に進むには▷▷/▷▶ ボタンを、再生中の曲の頭に戻るには◀◀/◀▶ ボタンを押す

ボタンを押すたびに1曲ずつ進み(戻り)ます。

<メモ>

- ディスクに収録されている曲数以上の番号は選択できません。
- 停止または一時停止中もスキップ操作ができます。
- 停止中に▷▷/▷▶ または◀◀/◀▶ ボタンを押すと、続けてスキップできます。

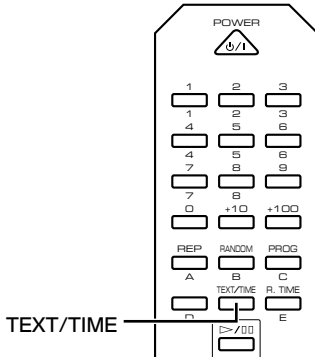
■ 聴きたいところを探すには

スキップ/サーチボタン▷▷/▷▶ または◀◀/◀▶ を押し続ける

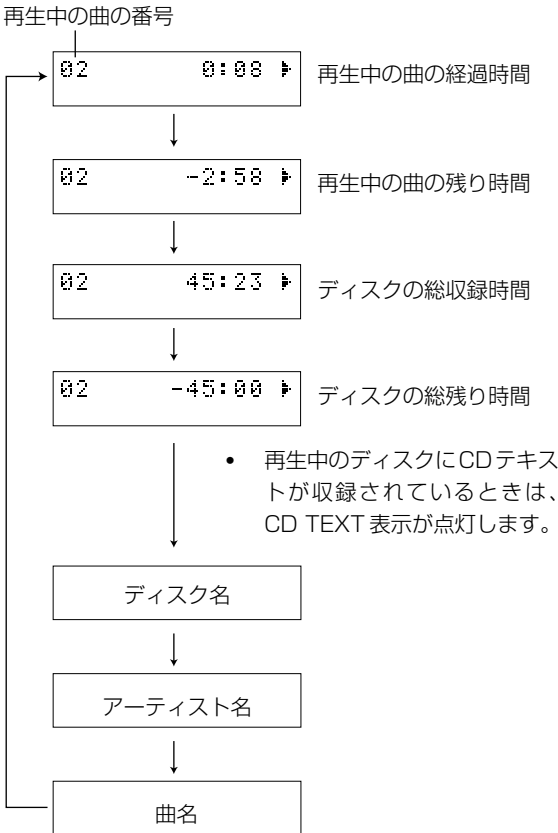
再生が早送り(早戻し)されます。聴きたいところで指を離してください。

時間とCDテキストの表示

TEXT/TIME ボタンで、4種類の時間表示を選択できます。CDテキストが収録されているディスクの再生中は、ディスク名、アーティスト名、曲名などの表示もできます。



TEXT/TIME ボタンを押すたびに、表示が次のように切り替わります。

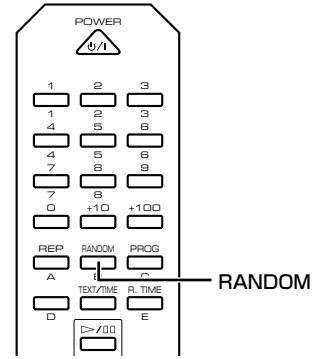


<メモ>

- CD TEXTディスクにディスク名、アーティスト名、曲名が収録されていないときは、ディスプレイに「NO ENTRY」と表示され、2秒後に経過時間表示になります。

ランダム再生

ディスク内の全曲をランダム(順不同)で再生します。



RANDOM ボタンを押す

- ディスプレイのRANDOM表示が点灯し、ランダム再生が始まります。

■ ランダム再生のキャンセル

□ボタンまたはRANDOM ボタンを押す

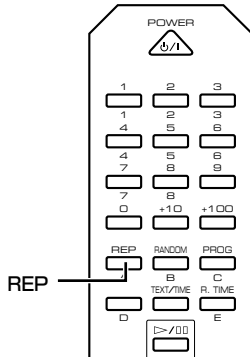
- RANDOM 表示が消えます。

<メモ>

- プログラム操作およびプログラム再生中には、ランダム再生はできません。
- ランダム再生中に▷▷/◁▷ボタンを押すと、ランダムに次に選ばれた曲が再生されます。◁◁/◁◁ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
- ランダム再生中は、ディスクの総残り時間は表示されません。

リピート再生

ディスク全体またはお好みの曲をリピート(繰り返し)再生します。REP ボタンでリピートモードを選択してください。



シングルリピートモード

再生中の曲をリピート再生します。



フルリピートモード

ディスク全体をリピート再生します。

- ランダム再生中は、毎回異なる順序でランダム再生が繰り返されます。

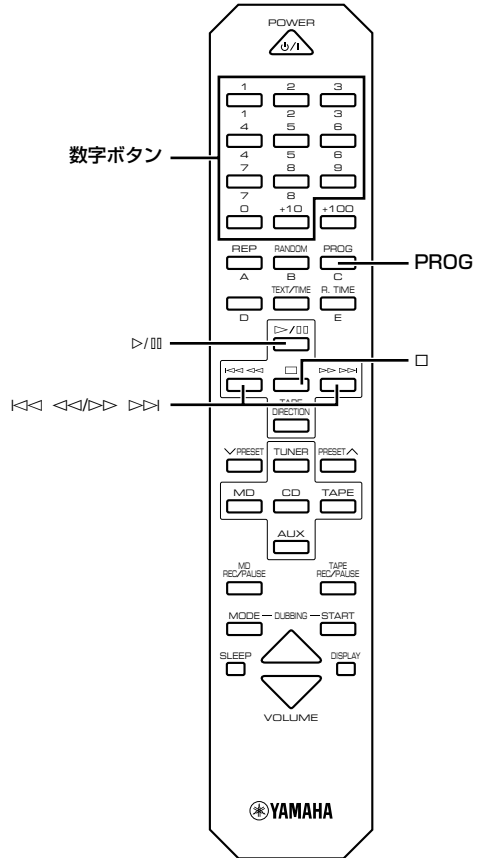


■ リピート再生のキャンセル

REP S表示またはREP F表示が消えるまで、REP ボタンを押す

プログラム再生

プログラム機能を使って、ディスク内の曲を最大 20 曲までお好みの順序で再生できます。



- ボタンを押して再生を停止する
- PROG ボタンを押す
- 数字ボタンを使って曲番を選び、ディスプレイに表示させる



- 手順3をくり返し、お好みの曲をプログラムする
- D/00 ボタンを押してプログラム再生を始める

■ プログラム再生の停止

□ ボタンを押す

<メモ>

- スキップ/サーチボタン▷▷/▷▷と◀◀/◀◀で、プログラムされた曲の中でのスキップ選曲ができます。

■ プログラムの確認

1. 停止中に、PROG ボタンを押す

2. スキップ/サーチボタン▷▷/▷▷ または◀◀/◀◀を押す

押すたびにプログラムした曲が順番に表示されます。

■ プログラムの変更

1. 「プログラムの確認」の手順にしたがって、変更したいプログラム番号を表示させる

2. 数字ボタンを使って、新しくプログラムしたい曲番を選ぶ

前にプログラムされていた曲は取り消され、新しい曲がその場所にプログラムされます。

■ 全プログラムの解除

停止中に、□ ボタンを押す

<メモ>

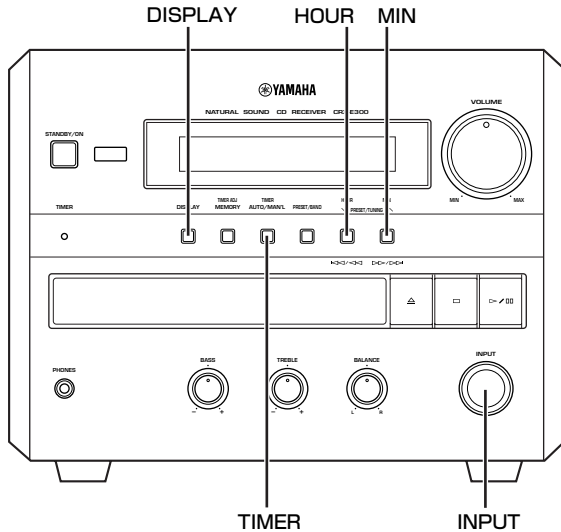
- ディスクトレイを開けたり、スタンバイ状態にしても、同様にプログラムが解除されます。

タイマーの使いかた

MDレコーダーMDX-E300、カセットデッキKX-E300を本機と組みあわせてタイマー再生またはタイマー録音ができます。その場合はあらかじめシステム接続(P.6参照)をしてください。MDX-E300、KX-E300の取扱説明書も併せてご覧ください。

タイマー再生／録音

タイマー機能を使って、指定した時間に自動的に再生、録音ができます。



1. DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ディスプレイのモード表示が以下のように切り換わります。

1. Clock Time 設定モード

時刻を合わせていないときは、「Set Clock」と表示されます。7ページの手順にしたがって時刻を合わせてください。

2. Timer Input 選択モード

INPUT セレクターをまわしてタイマー再生または録音したい入力を選択してください。

- タイマー録音ができるのは、TUNER または AUX を入力に選んだときのみになります。

3. Timer REC 選択モード

INPUT セレクターをまわして録音機器（テープ、MD）を選択してください。

TUNER か AUX をタイマー再生したいときは、「REC Mode OFF」を選択してください。

(例)

TUNER → TAPE

4. ON Time 設定モード

タイマー再生または録音を開始する時間を設定します。

「ON Time」が約2秒表示された後、時刻設定の表示になります。

HOUR ボタンで「時」を合わせます。

MIN ボタンで「分」を合わせます。

5. OFF Time 設定モード

ON Time と同じ要領で時刻を合わせてください。タイマー再生またはタイマー録音が、設定した時間に終了します。

<メモ>

- 各モードの表示時間は約8秒間です。設定終了前に表示が変わってしまったら、DISPLAY ボタンでもう一度そのモードを表示して、設定しなおしてください。
- 「2. Timer Input 選択モード」で TUNER か AUX 以外を選んだときは、「3. Timer REC 選択モード」は選択できません。

2. TIMER ボタンを押してタイマー設定を完了する

「4. ON Time 設定モード」または「5. OFF Time 設定モード」のときに TIMER ボタンを押すと、本機およびシステム接続された機器がスタンバイ状態になり、TIMER インジケーターが点灯します。

- 続けてご使用になりたいときは、STANDBY/ON ボタンを押して電源を入れてください。

■ タイマー設定の取り消し

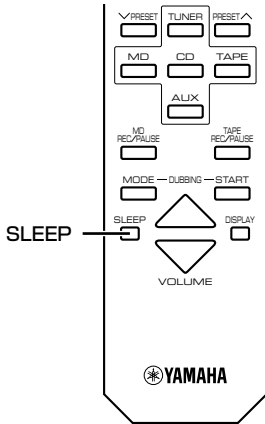
DISPLAY ボタンを押して、Clock Time モード(現在の時刻)を表示している間に TIMER ボタンを押してください。TIMER 表示が消えます。スタンバイ状態で TIMER ボタンを押しても取り消しできます。

<メモ>

- 停電や電源コードを抜いた状態で5分以上経過し、Clock Time 設定モードで「Set Clock」と表示されたときは、もう一度時刻を合わせなおしてください。

スリープタイマー

選択した時間が経過すると自動的に動作を止め、スタンバイ状態になるので、聴きながらおやすみになれます。



1. お聴きになりたいものを再生する

2. SLEEP ボタンを押して時間を選択する

ボタンを押すたびに、再生時間が次のように切り換わります。(h = 時間、m = 分)

SLEEP 2h00m



SLEEP 1h30m



SLEEP 1h00m



SLEEP 0h30m



SLEEP OFF

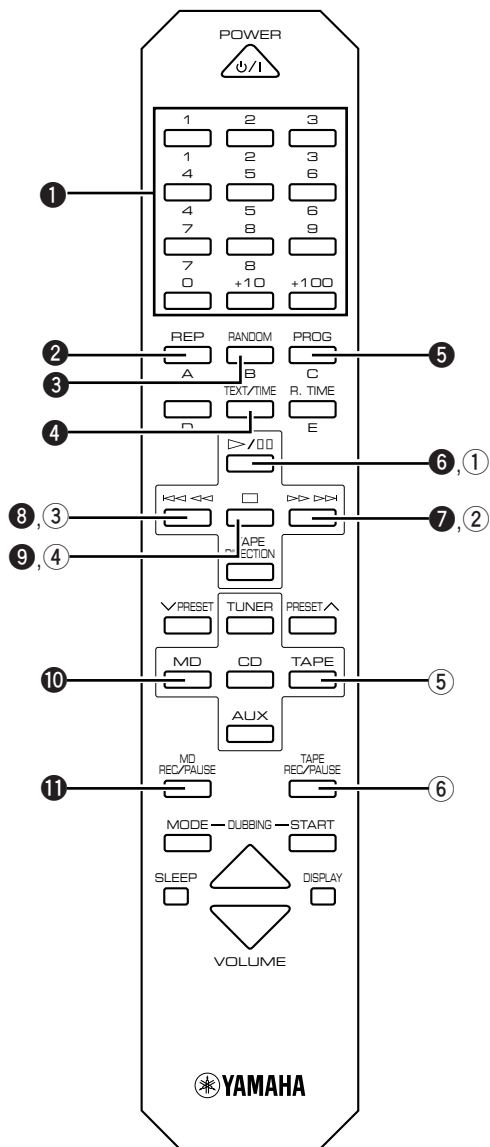
時間を選んだ約4秒後にもとの表示に戻り、SLEEPインジケーターが点灯します。

- 選択した時間が経過すると自動的に再生終了し、スタンバイ状態になります。

<メモ>

- スリープタイマーとタイマー再生/録音を併用したときは、先に設定時間に達したほうで動作が止まります。ご注意ください。
- スリープタイマー作動中に SLEEP ボタンを押すと、残り時間が表示されます。さらにつづけてボタンを押すと、上記のように時間が切り換わります。

リモコンで他の機器を操作する



MDレコーダー <MDX-E300>

- ① 数字ボタン
- ② REP(リピート)ボタン
- ③ RANDOM(ランダム)ボタン
- ④ TEXT/TIME(テキスト/タイム)ボタン
- ⑤ PROG(プログラム)ボタン
- ⑥ ▷/⏸(再生/一時停止)ボタン
- ⑦ ▷▷ ▷▷(早送りスキップ/サーチ)ボタン
- ⑧ ◀◀ ◀◀(早戻しスキップ/サーチ)ボタン
- ⑨ ◻(停止)ボタン
- ⑩ MD 選択ボタン
- ⑪ MD REC/PAUSE(録音/待機)ボタン

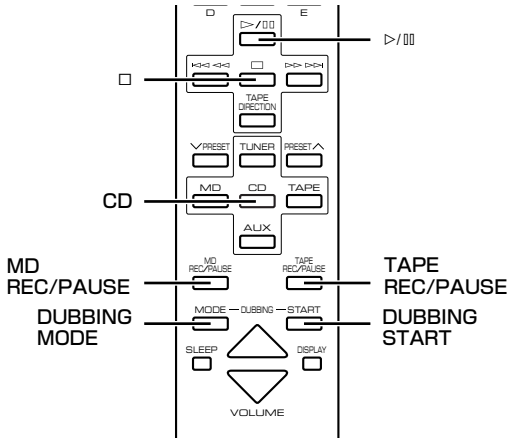
カセットデッキ <KX-E300>

- ① ▷/⏸(再生)ボタン
- ② ▷▷ ▷▷(早送り)ボタン
- ③ ◀◀ ◀◀(巻き戻し)ボタン
- ④ ◻(停止)ボタン
- ⑤ TAPE 選択ボタン
- ⑥ TAPE REC/PAUSE(録音/待機)ボタン

MDレコーダーMDX-E300、カセットデッキKX-E300を使って録音するときは、あらかじめシステム接続(P.6 参照)をしてください。MDX-E300、KX-E300の取扱説明書も合わせてご覧ください。本機のAUX入力端子に接続されている機器の音源をMDやテープに録音することもできます。

ダビングモードの選択

システム接続された機器の間で、4種類のダビングモードを選択できます。ダビングモードを選択すれば、それぞれの方法で自動的に録音が始まり、終了します。



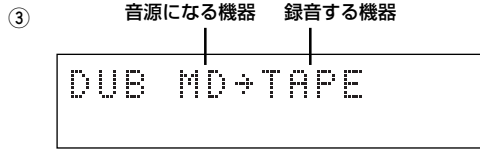
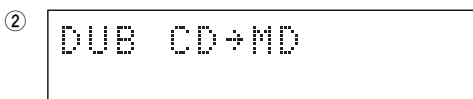
1. CRX-E300 とすべての接続機器を停止させる

2. DUBBING MODE ボタンを押して、ダビングモードを選ぶ

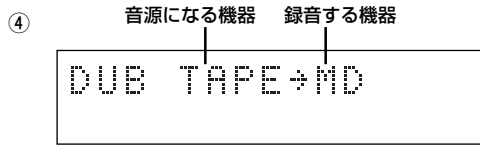
ボタンを押すたびに、表示が次のように切り換わります。



- テープの頭から録音が始まります。続けて DUBBING START ボタンを押すと、テープが途中まで進んでしまっているときでも自動的に巻き戻されます。
- A面の終わりで曲が切れたときは、同じ曲をB面の頭に録音します。
- B面の終わりに近づいたら自動的にフェイドアウトします。



- CD→TAPE と同様



- 音源になるテープの頭から録音します。続けて DUBBING START ボタンを押すと、音源のテープが途中まで進んでしまっているときでも自動的に巻き戻されます。

3. DUBBING START ボタンを押す

<メモ>

- ①～④のうち、本機に接続されていない機器を含むダビングモードは選択できません。

■ ダビングの停止

録音中の機器(MDX-E300 または KX-E300)のロボタンを押す

シンクロ録音

CDからMD、テープへの録音が、一つのボタン操作で開始/終了できます。

1. CD ボタンを押す

2. MD に録音するときは MD REC/PAUSE ボタンを、テープに録音するときは TAPE REC/PAUSE ボタンを押す

3. ▷/00 ボタン (または CD の再生ボタン) を押す

CD 再生の開始と同時に MDX-E300 または KX-E300 で自動的に録音が始まります。

■ 録音の停止

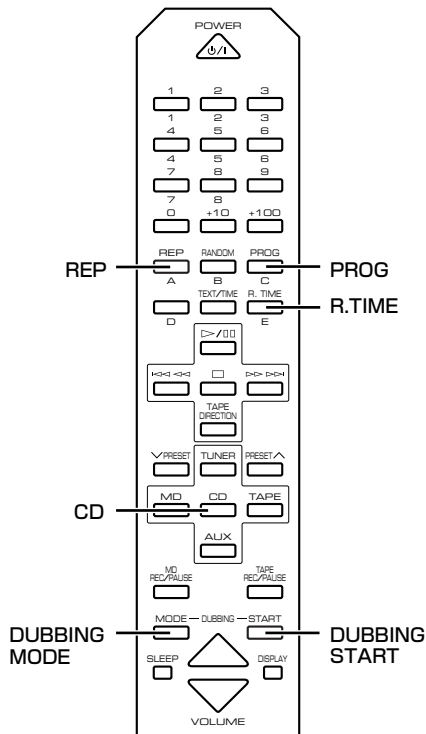
ロボタンを押す

- CD の再生が停止し、録音機器は録音待機状態になります。
- 録音機器のロボタンを押すと録音が停止し (待機状態もクリア)、CD の再生は続きます。

テーププログラム

指定したテープの長さから、自動的に残り時間を計算して、時間内におさまるよう録音の曲順をプログラムしたり、その長さに収録できるか確認できます。

① マニュアルテーププログラム

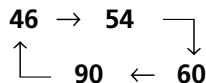


1. 録音するディスクとテープをそれぞれの機器に入れる

2. CD ボタンを押す

3. R.TIME ボタンをくり返し押して、テープの長さを指定する

ボタンを押すたびに、テープの長さが次のように切り換わります。



- 数字ボタンを使って長さを指定することもできます。1桁ずつ入力してください(50分を指定するには5ボタンを押してから0ボタンを押す)。

4. PROG ボタンを押す

- ディスプレイのA00B表示が点灯して、現在選ばれているテープ面をお知らせします。

5. 数字ボタンを使って曲番を選ぶ

- 手順5をくり返してプログラムしていきます。
- 録音テープの残り時間がCDのディスプレイに表示されます。プログラムした曲がテープの残り時間より長いときは、「TM Over」と表示されます。

6. R.TIME ボタンを押して、B面に切り換える

- 手順5をくり返してプログラムしていきます。

7. DUBBING MODEボタンで「CD→TAPE」を選び、DUBBING STARTボタンを押す録音が始まります。

② 自動テーププログラム

1. 「マニュアルテーププログラム」の手順1～3をおこなう

2. REP ボタンを押して、自動プログラムを始める

- A面の残量がなくなったところで自動的にB面に移ります。終わったらディスプレイに次のように表示されます。

(例)計11曲がプログラムされたとき



P.14「プログラムの変更」の手順にしたがって、プログラムされた内容を変更することができます。

3. DUBBING MODEボタンで「CD→TAPE」を選び、DUBBING STARTボタンを押す録音が始まります。

■ ダビングの停止

KX-E300のロボタンを押す

■ テーププログラムの解除

ダビング停止中に、CRX-E300のロボタンを押す

故障かな？と思ったら

下記のようなときは故障でないことがありますので、修理やサービスをお申し付けになるまえにご確認ください。対処してもなおらないとき、または下記以外の異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店かヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合せ、サービスご依頼ください。

	こんなとき	考えられる原因	なおしかた
レシーバー	STANDBY/ON ボタンを押しても電源がオンにならない。	電源プラグの接続が不完全。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	片方のスピーカーから音が出ない。	スピーカーの接続が不完全。	正しく接続されているかお確かめください。
	本機に接続している機器からの音がでない。	接続があっていない。	接続を確認し、改善されないときはコードを取り替えてください。
		入力を選択があっていない。	再生中の機器を入力を選んでください。
	音声が突然出なくなる。	ショートなどの原因により保護回路が作動している。	スピーカー配線が相互に接触していないことを確認してから、本機をオンにしてください。
	正常に動作しない。	誤操作や強い外来ノイズ(雷による電源電圧の異常など)のために、操作を受け付けなくなっている。	電源プラグを抜き、1分後に再びつないで操作をやりなおしてください。
	音がひずむ。	本機に接続されている録音機器(MDX-E300、KX-E300)の電源コンセントが抜かれている。	いったん本機の電源を切ってから、録音機器のコンセントを差し込んでください。
	タイマーがスタートしない。	時計がセットされていない。	現在の時刻を合わせてください。
	FM放送受信中にザーっというノイズが入る。	何らかの電波干渉を受けている。	アンテナの位置を変えるか、屋外用アンテナを設置してください。
	AM放送受信中にノイズが入る。	テレビからの雑音、または放送局間の干渉音をひろっている。	テレビを消すか、テレビから離してください。
プリセットした放送局が呼び出せない。	プリセット登録内容が消えてしまっている。	もう一度プリセットしなおしてください。	
CDプレーヤー	再生が始まらない。	ディスクにキズがある。	他のディスクを入れてください。
		本機内のレーザー読み取り部に水滴がついている。	電源を入れ、20～30分待ってから再生してください。
		ディスクが裏返しにセットされている。	文字のある面を上にしてください。
		ディスクがひどく汚れている。	2ページの要領で汚れを拭きとってください。
	再生が遅れる、または途中から始まる。	ディスクにキズがある。	他のディスクを入れてください。
	システム録音がうまくいかない。	システム接続が不完全。	接続を確認してください。
	音とびする。	本機が振動の多い場所に置かれている。	本機を振動のない場所に移動してください。
		ディスクが汚れている。	2ページの要領で汚れを拭きとってください。
ハム音がでる。	接続が不完全	接続を確認し、改善されないときはコードを取り替えてください。	
本機内から雑音が聞こえる。	ディスクがゆがんでいる。	他のディスクを入れてください。	
リモコン	リモコンで操作できない。	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。
		リモコンと本体の距離が遠すぎる。	リモコンは本体から6m以内で操作してください。
		受信部に直射日光やインバーター蛍光灯などの照明が当たっている。	本体または照明の向きを変えてください。
	リモコン操作中にテレビの動作がおかしくなる。	テレビのリモコン受信部が本機のリモコンの信号を受けている。	本体をテレビから離れたところに置いてください。

仕様

アンプ部

定格出力	25W+25W (1kHz、0.1%THD、6Ω)
実用最大出力	30W+30W (EIAJ、1kHz、10%THD、6Ω)
入力感度／入力インピーダンス (MD/テープ/AUX)	170mV/47kΩ
周波数特性 MD他	20Hz～20kHz、±0.5dB
全高調波歪率 (20Hz～20kHz) MD他、12.5W、6Ω	0.04%
信号対雑音比 (IHF-A) MD他→メインL/R、250mV(入力ショート)	98dB
出力電圧／入力インピーダンス	
録音出力	170mV/1.2kΩ
サブウーファー出力	2.0V/1.2kΩ
ヘッドホン出力	0.35V/270Ω

CD部

D/AコンバーターSビットDAC

電源・その他

電源電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力	55W
待機時消費電力	0.65W
寸法(幅×高さ×奥行き)	217 x 168 x 312mm
質量	5.0kg

* 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は「高調波ガイドライン」適合品です。

チューナー部

受信周波数範囲	
FM	76.0MHz～108.0MHz /50kHz ステップ
AM	531Hz～1611Hz /9kHzステップ
実用感度	
FM(モノラル)	1.0μV
AM	300μV/m



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- **保証期間**
お買上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。
摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラクタータミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★永年ご使用のAV製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

